

2 0 2 3 年 度

事業報告書

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

2023年度事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1. 事業の経過の概要

2023年度、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会では「日本の音楽芸術の水準向上」、「社会・地域への貢献」、「青少年を中心とした次世代育成」を基本方針に掲げ、日本の文化芸術振興並びに大阪を中心とした地域貢献に資する活動に取り組んでまいりました。

しかし乍ら、新型コロナが感染症法上の5類に移行された後も入場者数並びに依頼公演数の回復が緩やかなものに止まる等、弊協会を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

結果、各所からのご寄付や補助金等はあるものの、当年度の財務実績は経常収益912百万円(前年度比▲9百万円、計画比+13百万円)、経常費用1,003百万円(前年度比+39百万円、計画比+41百万円)、経常増減額▲91百万円(前年度比▲48百万円、計画比▲28百万円)と3期連続での赤字決算となりました。

当協会の重点課題である「自立に向けた収益基盤の充実」、「オーケストラの体制整備」の実現に向け、2023年末に日本芸術文化振興会より採択された「新たなオーケストラ支援事業」の助成金を活用する等し、財政的に安定した協会運営を目指してまいります。

2. 2023年度重点課題の実施状況

(1) 自立に向けた収益基盤の充実

2023年度の公演回数は、当初の事業計画101公演(自主公演40公演、依頼公演61公演)に対し、実績100公演(自主41公演、依頼公演59公演)となりました。

定期演奏会では若手から巨匠まで国内外の様々なタイプの指揮者、独奏者を招き、古典派作品から現代曲まで幅広い作品に取り組みました。また、自主公演では前年度のフランス音楽を集めた「音楽の宝石箱」に続く特別企画として、尾高忠明音楽監督の指揮により「メンデルスゾーン・チクルス ～メンデルスゾーンへの旅」を開催し好評を博しました。

また、2023年度は新型コロナウイルスによる制限が全て解除され、海外の共演者も来日可能となって予定していた演目を変更することなくお客様にお届けすることが出来ました。

今後はコロナ禍によってコンサートから遠ざかったお客様を呼び戻し、新たなファン層を増やす工夫と努力を続けてまいります。

(2) オーケストラの体制整備

楽団員の体制につきましては、中期的目標である80名体制の整備に向けて定期的に入団オーディションを開催しておりますが、当年度の入団者3名に対し、チェロ奏者1名、ヴァイオリン奏者2名、フルート奏者1名が退団したため、結果、2024年3月31日現在で特別契約団員（コンサートマスター3名、首席ヴィオラ奏者1名、首席チェロ奏者1名）を含めた楽団員数は63名となっております。

トップレベルの楽団員の確保は演奏水準の維持・向上にとって不可欠であり、中期的目標を視野に引続き確保に努めてまいります。

コンサートマスターにつきましては、引き続きソロ・コンサートマスターを崔文洙氏、コンサートマスターを須山暢大氏に務めていただくとともに、新たにアシスタント・コンサートマスターに就任した尾張拓登氏と分担して演奏会へ出演いただきました。

(3) 大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献

大阪の秋の風物詩として街の活性化にも貢献している「大阪クラシック」については、18年目となる2023年度も桂冠指揮者の大植英次マエストロがプロデューサーを務め、2023年9月上旬の1週間開催いたしました。

2023年度は新型コロナウイルスによるイベント制限が全て解除されたことで、約4年半ぶりに誰もが自由に鑑賞できる従来の街角コンサートのスタイルで実施し、来場者数25,000人という結果に大阪市からも高い評価を頂きました。

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団の運営状況

(1) 定期演奏会(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))

回数	開催日	指揮者	共演者	入場者数
第567回	2023.4.21・22	尾高忠明	田崎尚美、池田香織、 宮里直樹、平野 和、 大阪フィルハーモニー合唱団	2,583人
第568回	2023.5.19・20	アングス・ウェブスター	小林海都	2,540人
第569回	2023.6.16・17	シャルル・デュトワ	上野通明	3,021人
第570回	2023.7.21・22	下野竜也	ヴァルヴァラ	2,210人
第571回	2023.9.29・30	ハインツ・ホリガー	平野花子	2,789人
第572回	2023.10.20・21	尾高忠明	岡本誠司	2,329人
第573回	2023.11.24・25	上岡敏之	大阪フィルハーモニー合唱団	2,040人
第574回	2024.1.18・19	尾高忠明	—	2,202人
第575回	2024.2.9・10	井上道義	アレクセイ・ティホミーロフ オルフェイ・ドレンガー	3,608人
第576回	2024.3.1・2	エリアフ・インバル	—	2,628人

新型コロナウイルスによる制限が解除され、コロナ禍以降初めて全ての演奏会を予定通りの内容で開催することができました。4月の第567回では合唱団がヴェルディの“レクイエム”をマスク無しで歌唱し、力強い響きで会場を満たしたのをはじめ、アフィニス文化財団、ロームミュージックファンデーション、花王芸術・科学財団、三菱UFJ信託芸術文化財団から助成を受けた第575回では、井上道義氏指揮による最後の定期ということもあって入場者数も多く、演奏も各助成機関の専門委員から高い評価を受けました。その他、尾高監督によるウォルトンとブルックナーの交響曲やシャルル・デュトワ、ハインツ・ホリガー、エリアフ・インバル等の世界的巨匠による公演は楽団の音楽的表現が更なる高みに引き上げられた演奏となり、今後につながる成果を得ることが出来ました。

(2) メンデルスゾーン・チクルス ～メンデルスゾーンへの旅

(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))

尾高音楽監督と就任初年度より企画してきた、ベートーヴェン、ブラームス、

チャイコフスキー、ドヴォルザーク、フランス音楽に続く特別企画としてメンデルスゾーン・チクルスに取り組み、計4回の公演を通して大阪フィルの音楽性を高めると共に、大阪市からは「大阪の魅力を広く発信でき、新たな鑑賞者・参加者の創出に結びつく工夫のある企画」として評価され、大阪市芸術活動振興事業助成金を受けました。

(3) 東京定期演奏会

1月22日にサントリーホールで開催し、尾高監督の指揮で武満徹のオーケストラのための「波の盆」と大阪フィルが得意とするブルックナーから名曲ながら演奏機会の少ない6番を披露しました。演奏は文化庁をはじめ東京の主要な音楽評論家、マネジメント会社、企画制作会社等から高い評価を頂き、日本のクラシック音楽業界に対し大阪フィルの存在感を強くアピールすることが出来ました。

(4) マチネ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))

夜間のコンサートへの来場が難しいお客さまのために、平日昼間に開催する本格的なコンサートとして Vol. 29、Vol. 30の2公演を開催いたしました。

(5) ソワレ・シンフォニー(文化庁補助による舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))

クラシック音楽に馴染みのない方でも楽しんでいただける、古今東西の名曲を集めたコンサートとして Vol. 21、Vol. 22の2公演を開催いたしました。

(6) その他の自主公演・共催公演

「ドラゴンクエスト・コンサート」 1公演

「神戸特別演奏会」 1公演

「親子のためのオーケストラ体験教室」 4公演

「3大交響曲の夕べ」 1公演

「京都特別演奏会」 1公演

「第9シンフォニーの夕べ」 2公演

「新春名曲コンサート」 1公演

「高槻特別演奏会」 1公演

(7) 大阪市からの委託事業等

地元西成区の音楽文化振興を目的として、大阪フィル会館を会場に毎年開催している「にしなりクラシック」を1公演開催いたしました。

また、「大阪クラシック」では大阪クラシック実行委員会からの委託事業としてオーケストラ公演を2公演開催いたしました。

大阪市の公募型プロポーザル方式で採択された「はじめましてオーケストラ」(大阪フィルと中学生の共演コンサート)を1公演開催いたしました。

(8) 依頼公演

国や自治体((7)の公演を含む)、企業・団体・ホールからの依頼公演を年間を通じて59公演開催し、クラシック音楽の普及はもちろん学校教育や企業・団体の社会貢献活動の取り組みに音楽の提供を通じて貢献することができました。

4. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600㎡)・市民スタジオ(90㎡、40㎡×2の3室)を市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽文化の普及、振興に貢献いたしております。2023年度の利用件数は、昨年度に続く新型コロナウイルス感染症の影響はありつつもメインホール93件(前年度102件)、市民スタジオ3室合計727件(前年度644件)となりました。

5. 法人の庶務

(1) 総会

・ 定時総会 開催日 2023年6月16日

決議事項

議案① 2022年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案② 2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案③ 理事4名辞任に伴う理事4名選任の件

(2) 理事会

・ 定時理事会 開催日 2023年5月16日

決議事項

議案① 第12回定時総会招集の件

議案② 2022年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案③ 2022年度貸借対照表、正味財産増減計算書、
それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案④ 理事4名辞任に伴う理事候補4名選任の件

・ 定時理事会 開催日 2024年3月5日

決議事項

議案① 2024年度事業計画及び収支予算書承認の件

議案② 人事異動に関する件

(3) 会員の状況

本年度末の会員数	: 法人	235社	個人	222名	計	457名
前年度末の会員数	: 法人	235社	個人	231名	計	466名
差引	: 法人	±0社	個人	▲9名	計	▲9名

(内 訳)

入会	: 法人	5社	個人	11名	計	16名
退会	: 法人	▲5社	個人	▲20名	計	▲25名

2023年度新規加入会員

(法人の部) 5社

極東開発工業株式会社、株式会社レップワン、株式会社SMB C信託銀行
株式会社D&Mカンパニー、蓮美幼児学園

(個人の部) 11名

大磯 洋明、寺岡 龍彦、田邊 美野利、山中 修治、川崎 薫
匿名6名

(4) 役員の変動

2023年度中の役員の変動は下記のとおり

(退任役員)

- ・ 常任理事 森本 孝氏
2023年6月16日退任
- ・ 理事 天野 剛志氏 (株式会社高島屋 京都店 副店長)
2023年6月16日退任
- ・ 理事 秀高 誠氏 (株式会社大林組 顧問)
2023年6月16日退任
- ・ 常務理事 松村 隆氏
2023年6月16日退任

(新任役員)

- ・ 常任理事 松村 孝夫氏 (関西電力株式会社 代表執行役副社長)
2023年6月16日就任
- ・ 理事 小川 弘氏 (SMBC 不動産調査サービス株式会社 専務取締役)
2023年6月16日就任
- ・ 理事 永井 靖二氏 (株式会社大林組 専務執行役員)
2023年6月16日就任
- ・ 理事 三宅 克典氏 (株式会社高島屋 総務部 関西地区 エリア長)
2023年6月16日就任

※ 各氏の所属会社・団体での職位は、いずれも就任・退任時の職位

以上

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 役員一覧
(2024年3月31日現在)

理事長	奥 正之	理事	永井 靖二
常務理事	小川 弘	〃	西岡 信雄
常任理事	角元 敬治	〃	東 寿
〃	近藤 泰正	〃	三村 千賀
〃	新沼 宏	〃	三宅 克典
〃	福田 里香	〃	山本 卓彦
〃	松村 孝夫		
〃	室町 鐘緒	監事	長田 晃一
〃	森崎 健志	〃	森下 文夫
理事	安藤 恭輔		
〃	大場 英幸	顧問	太田 房江
〃	小原 一泰	〃	小野寺 昭爾
〃	川合陽一郎	〃	北岸 松男
〃	斉藤 裕典	〃	關 淳一
〃	多賀谷克彦	〃	筒井 義信
〃	玉井 順一	〃	中川 和雄
〃	中谷 敏昭	〃	橋本 雅博